

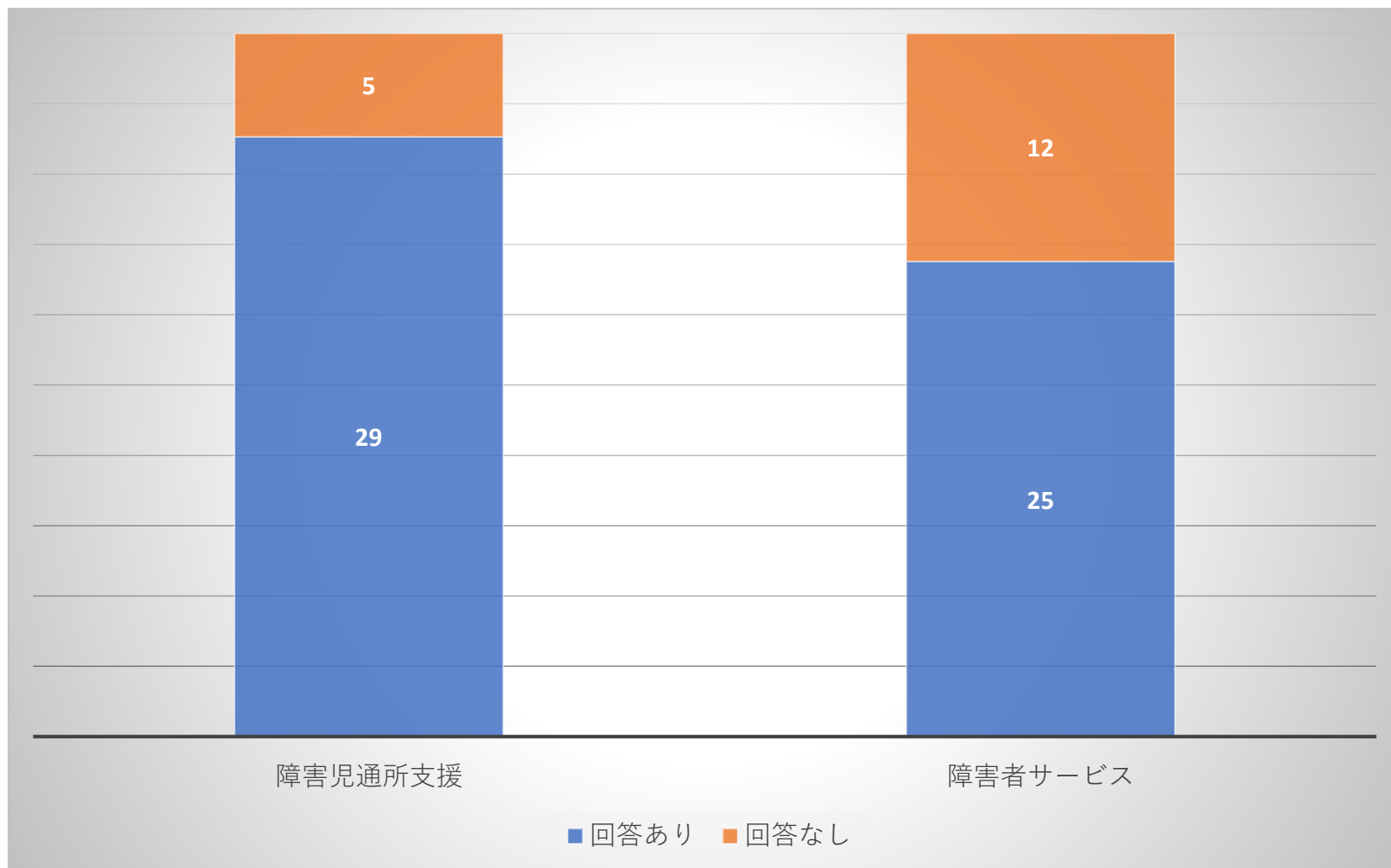
医療的ケア委員会 アンケート調査まとめ

2019年度第3回 医療的ケア支援委員会

令和1年12月9日（月）15:00～

場所 にじいろキッズらいふ

1. 回答事業所の概要



(1) 障害児通所支援

○回答事業所数：29事業所 = 85.3%

- ・医療型児童発達支援事業
- ・児童発達支援事業（以下、児発）
- ・放課後等デイサービス事業（以下、放デイ）
- ・多機能型（児発/放デイ）
- ・多機能型（児発/生活介護）
- ・多機能型（放デイ/生活介護）
- ・医療型短期入所事業

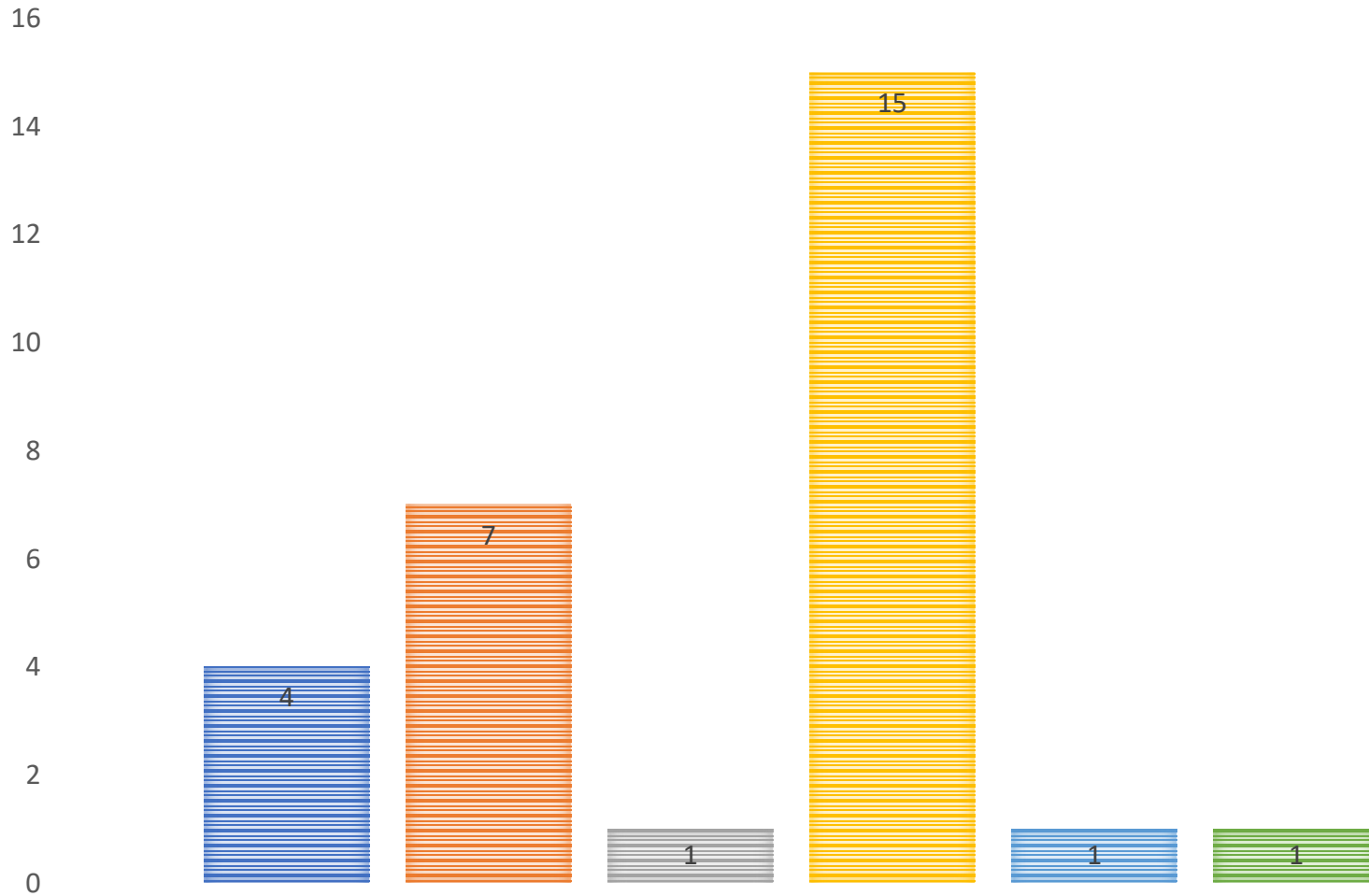
(2) 障害者サービス

○回答事業所数：25事業所 = 67.6%

- ・生活介護事業（以下、生介）
- ・多機能型（生介/就労継続B型支援事業）
- ・多機能型（生介/生活訓練事業）
- ・就労移行支援事業、就労継続A型支援事業、就労継続B型支援事業（以下、就労系）
- ・障害者支援施設
- ・共同生活援助
- ・地域活動支援センター（以下、地活）

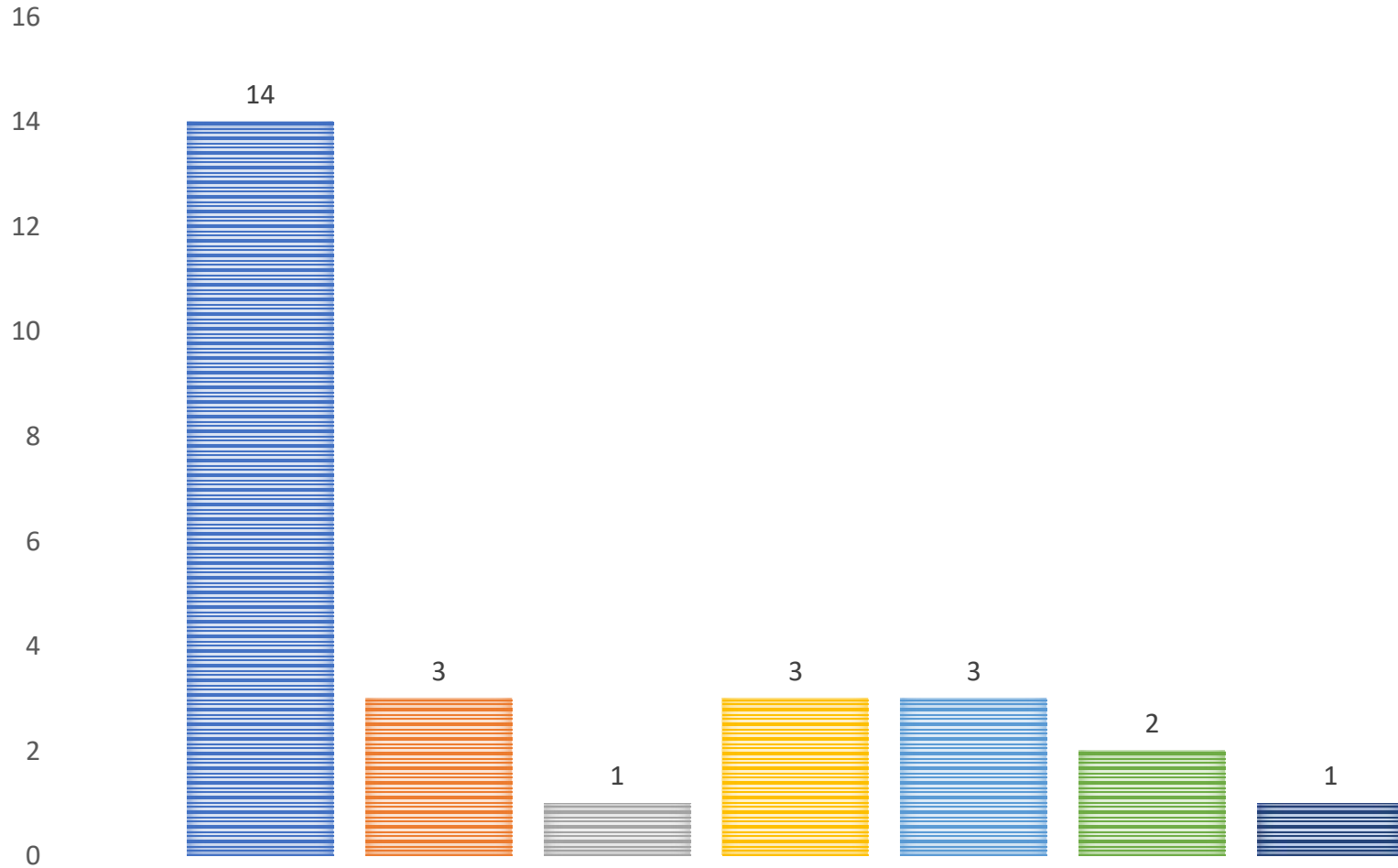
障害児通所支援事業所

- 児童発達
- 放デイ
- 多機能（児発・放デイ）
- 多機能（放デイ・生介）
- 多機能（児発・生介）
- 医療型短期入所

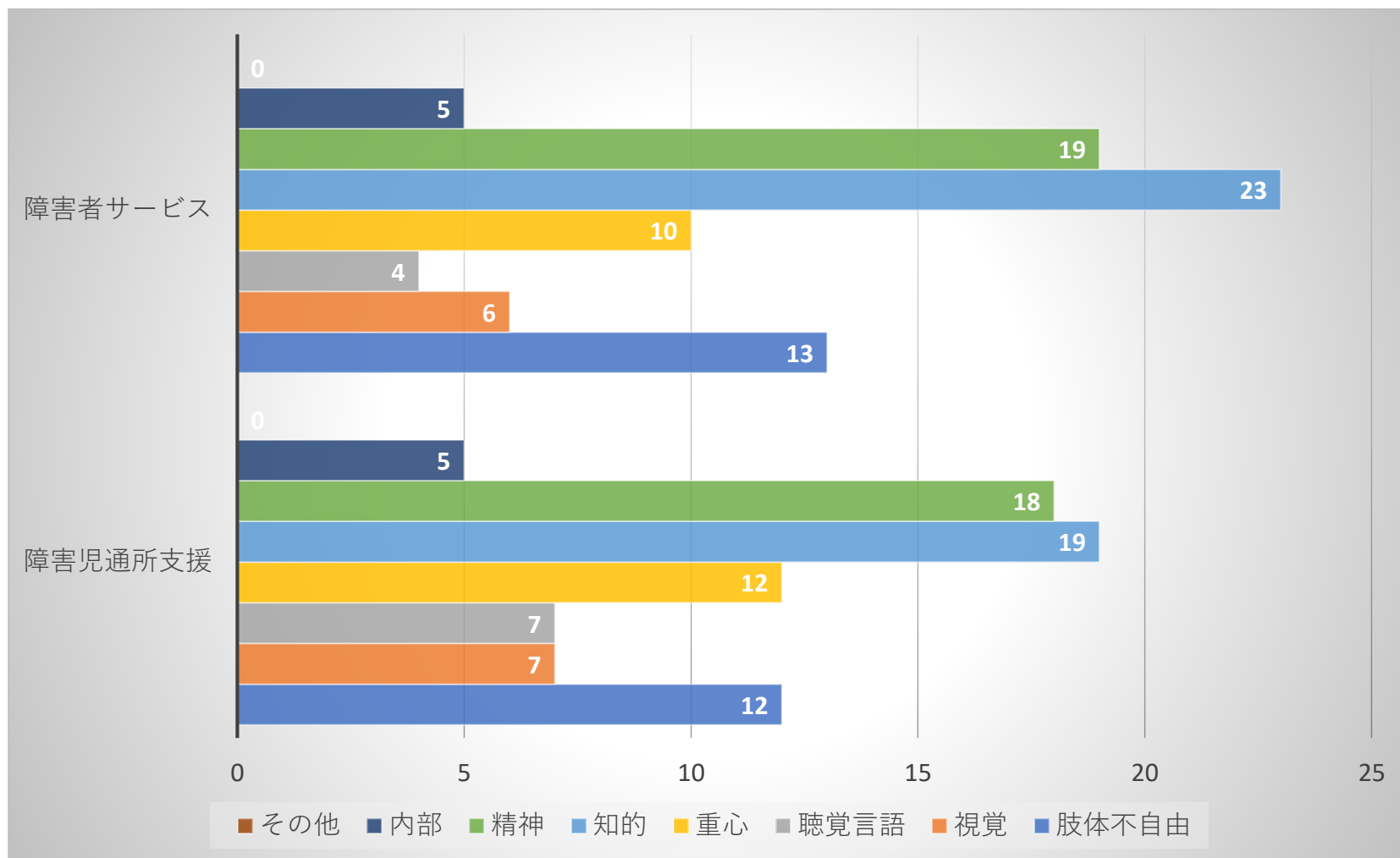


障害者サービス事業所

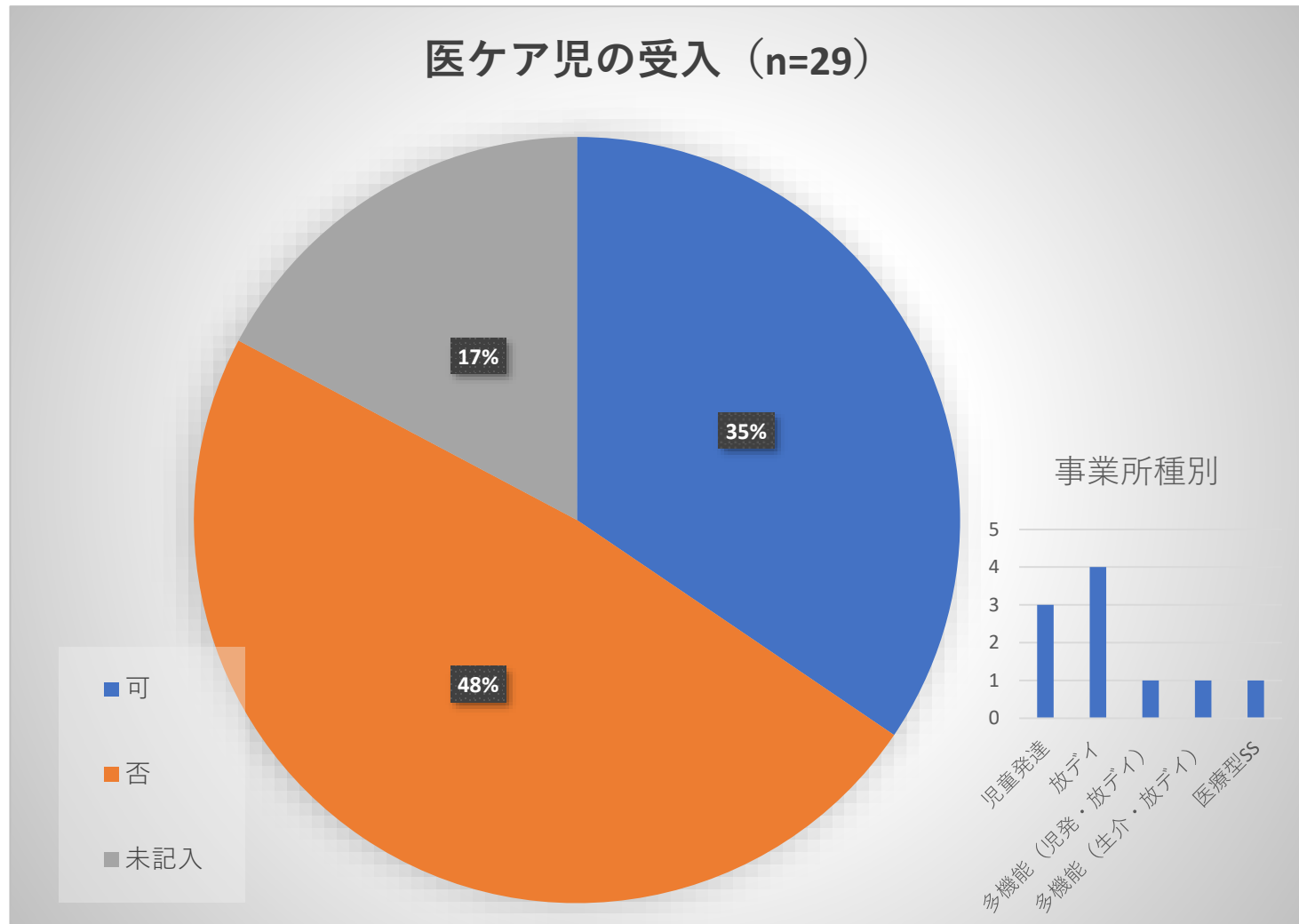
- 生活介護
- 障害者支援施設
- 多機能（生介・就労）
- 共同生活援助
- 多機能（生介・生訓）
- 地活
- 就労系



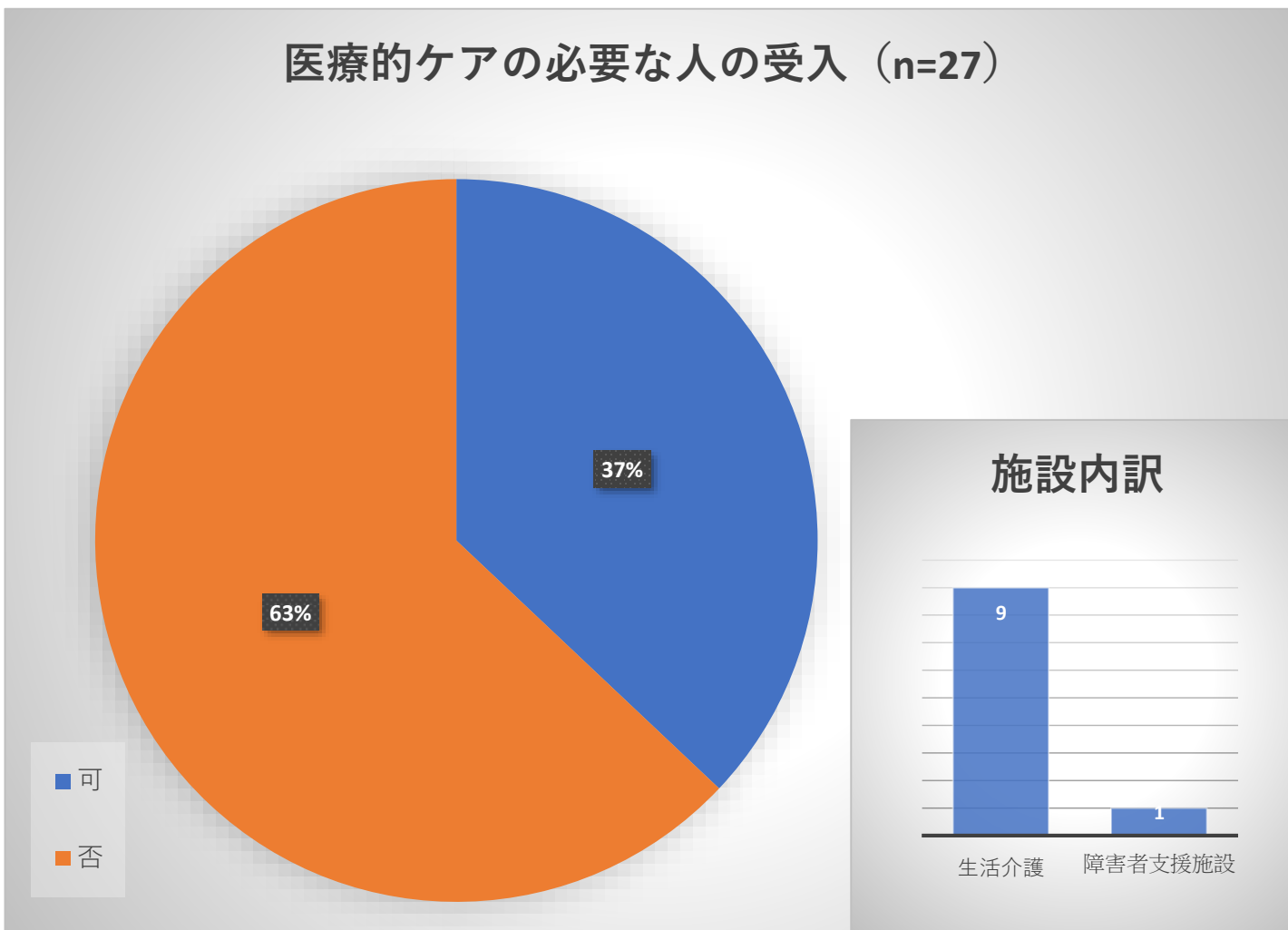
2. 主な受入対象の障害



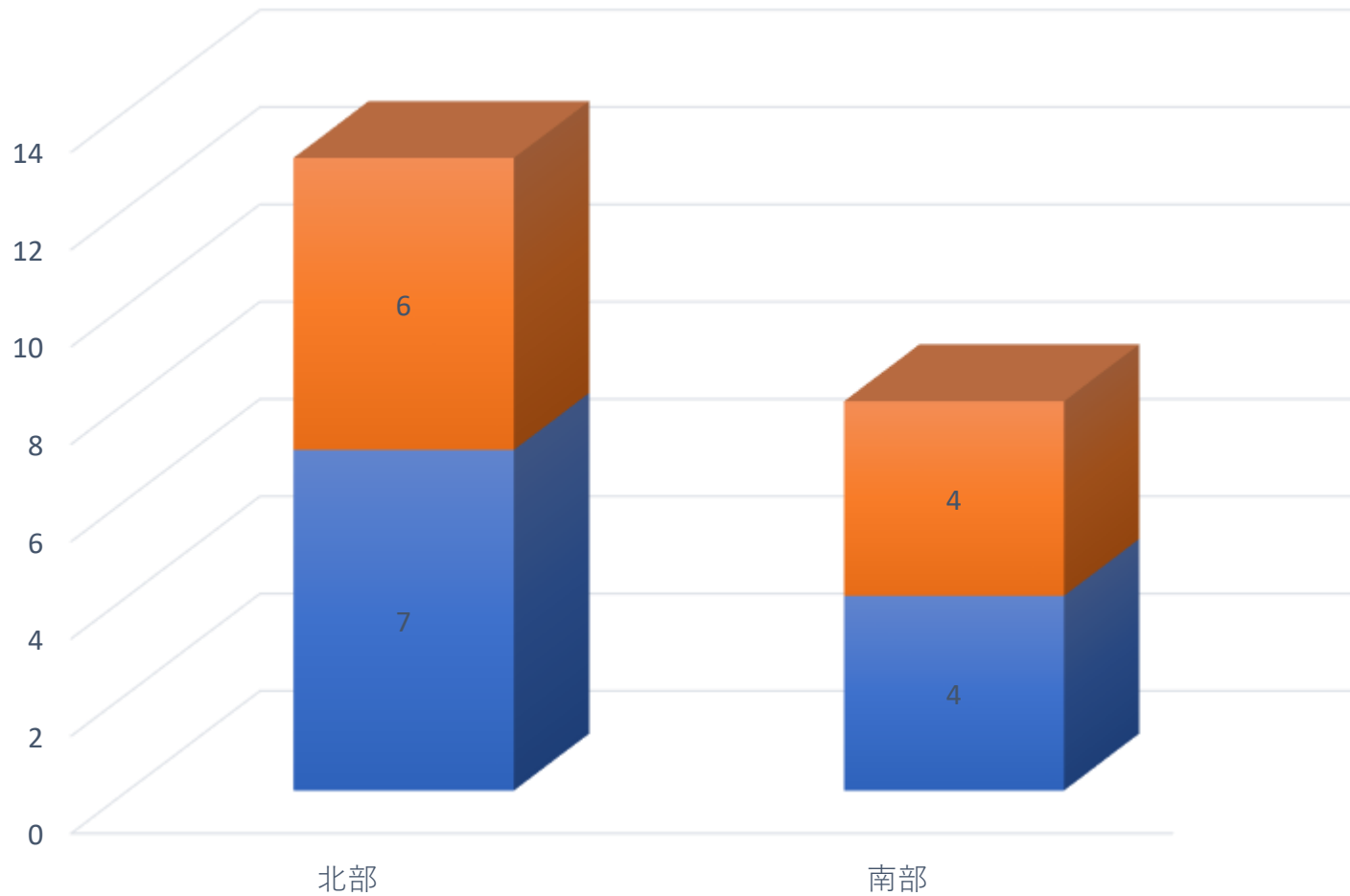
3. 医療的ケアを必要とする児（者）の受入



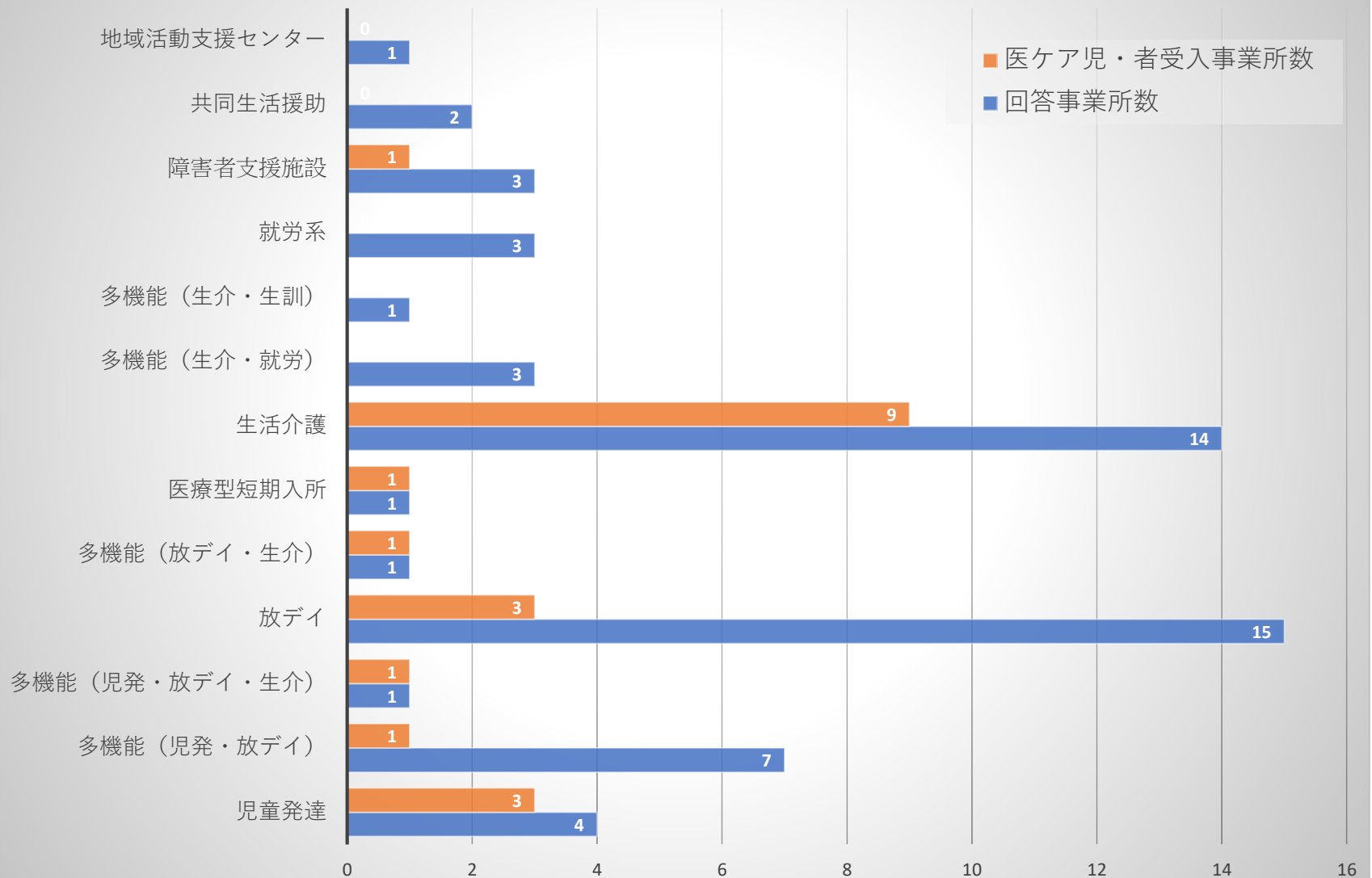
3. 医療的ケアを必要とする児（者）の受入



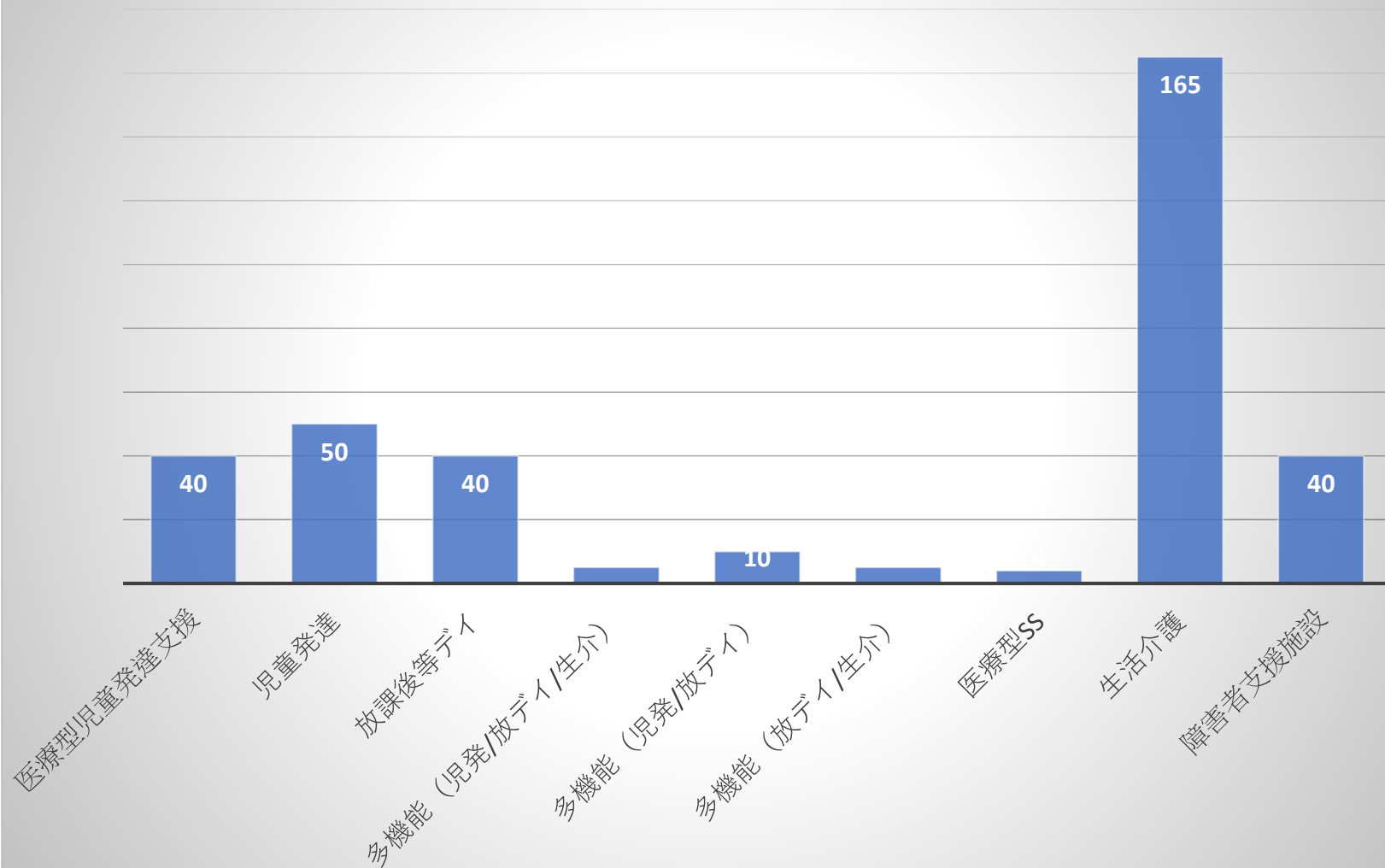
■ 障害児通所支援 ■ 障害者サービス



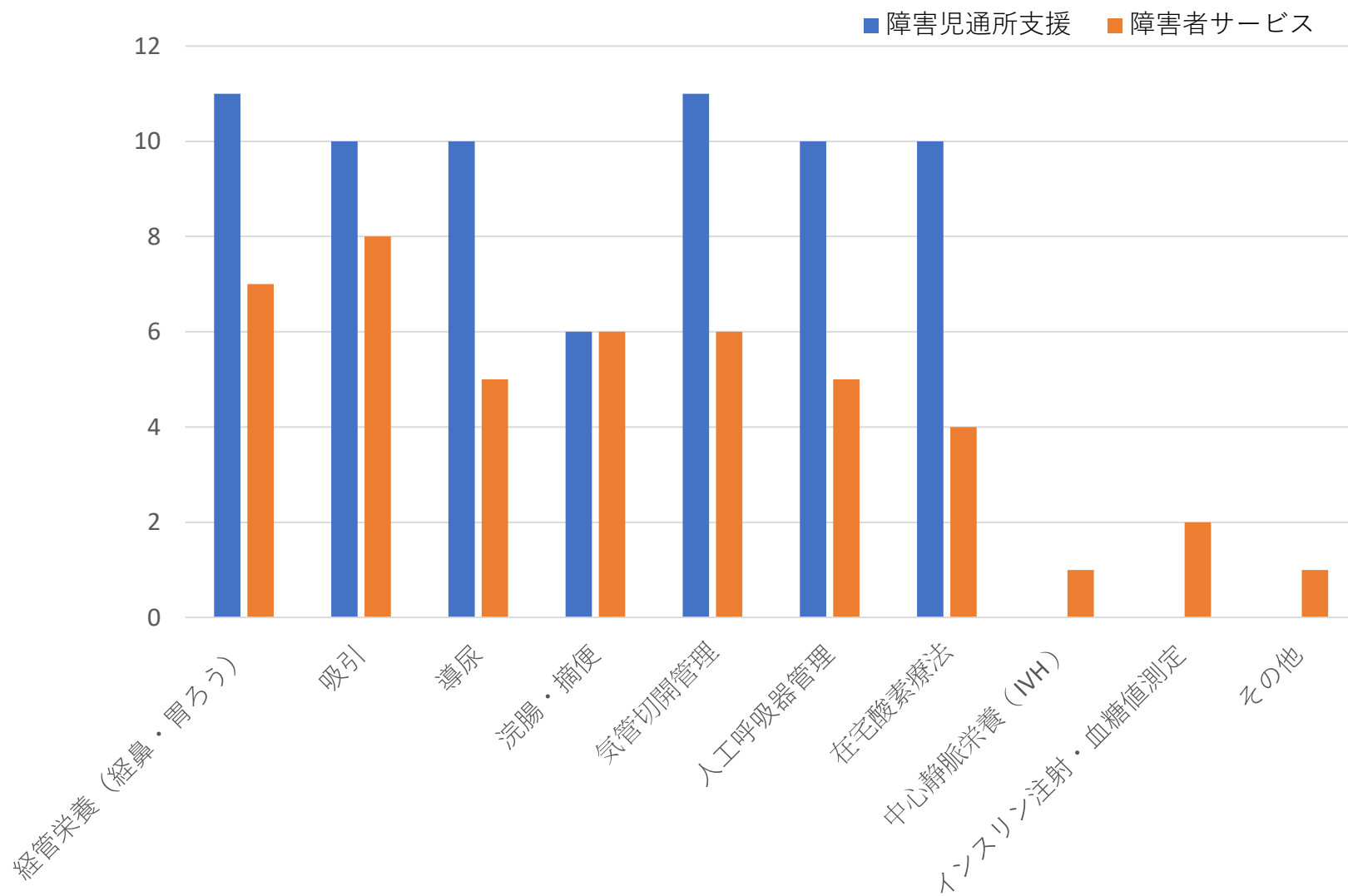
アンケート回答事業所数（n=56）および医ケア受入事業所数（n=21）



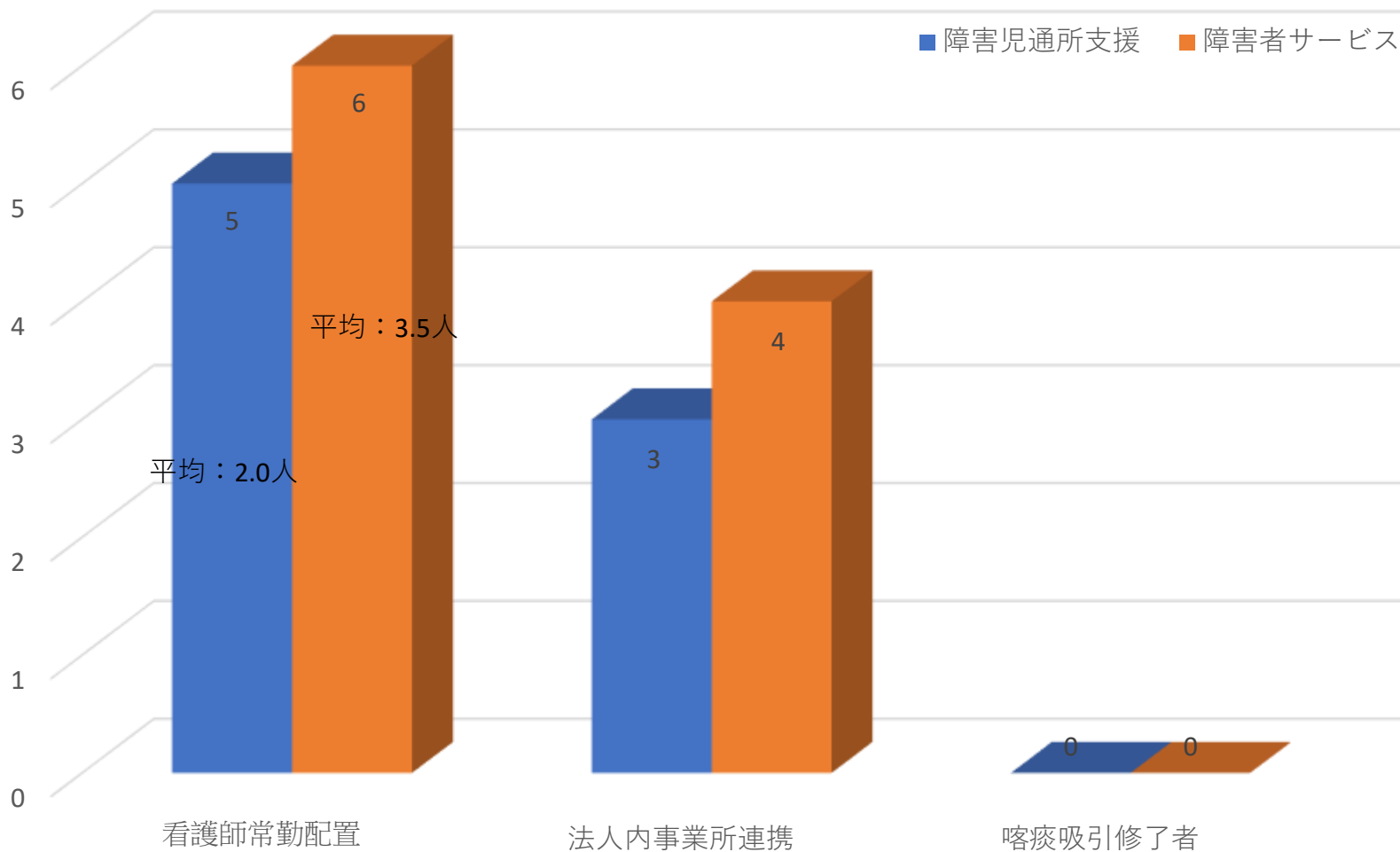
医ケア児（者）の受入可能事業の定員数



4. 受入可能な医療的ケアの内容

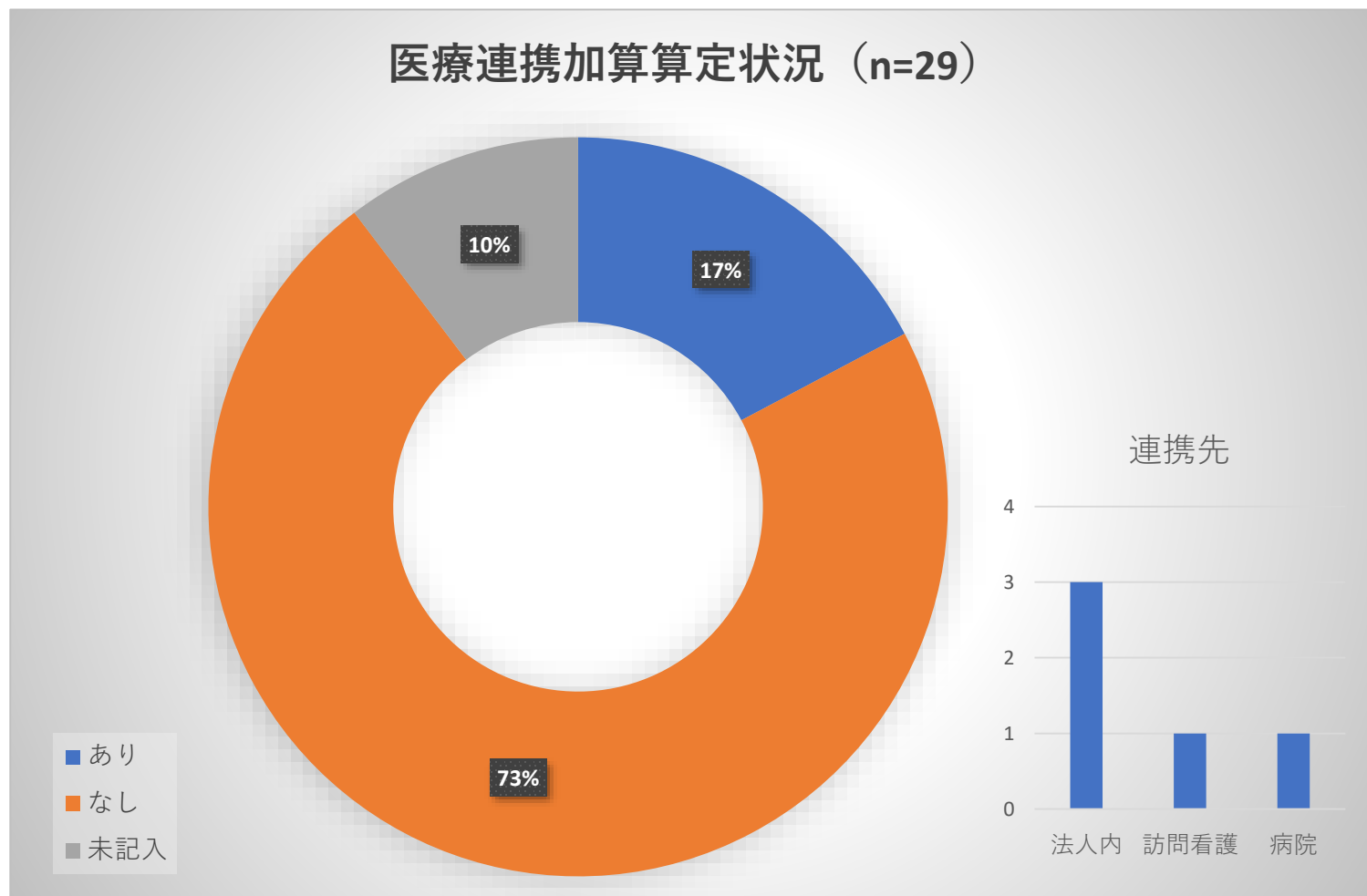


5. 看護師等の配置状況



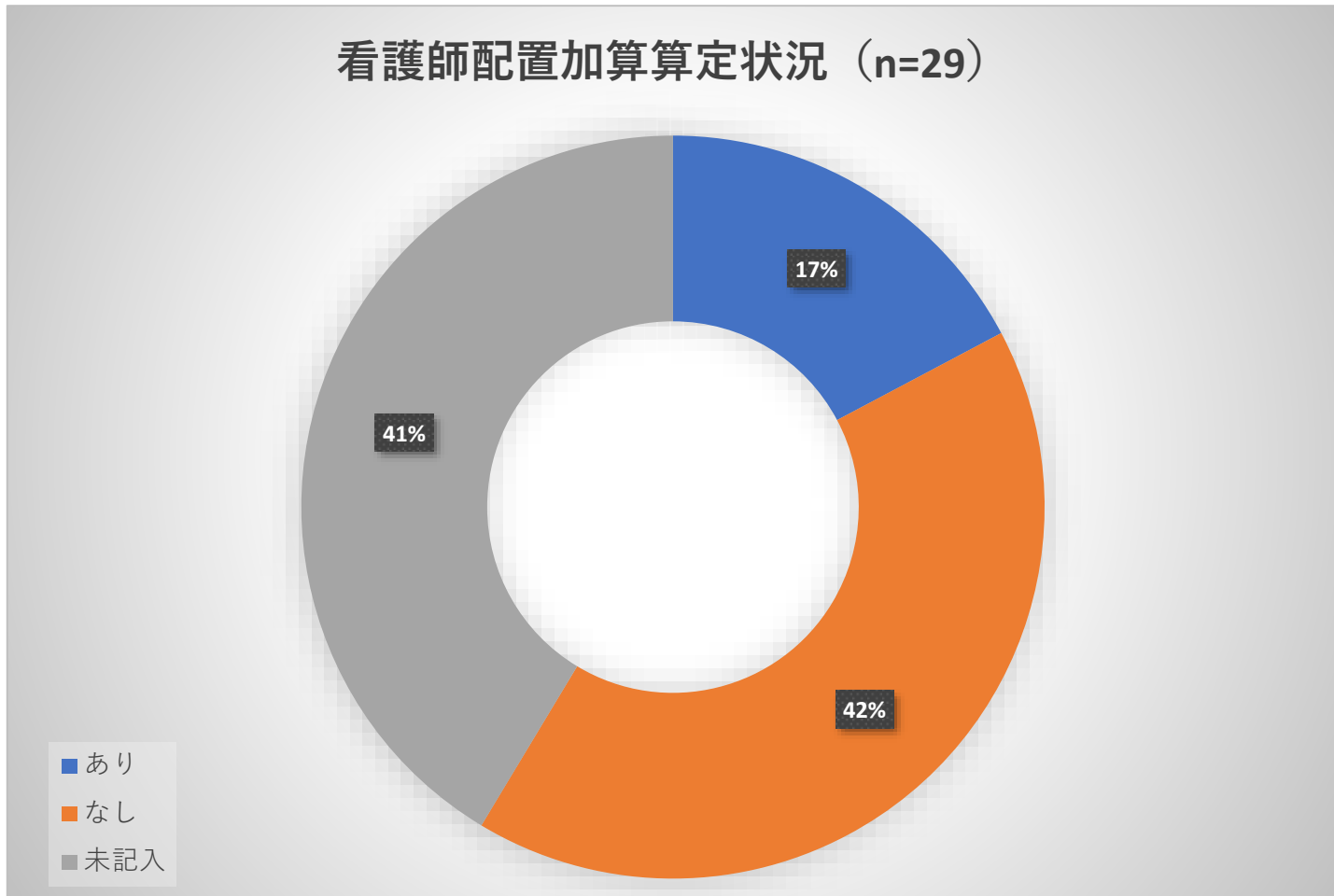
6. 加算算定の状況

(1) 障害児通所支援



6. 加算算定の状況

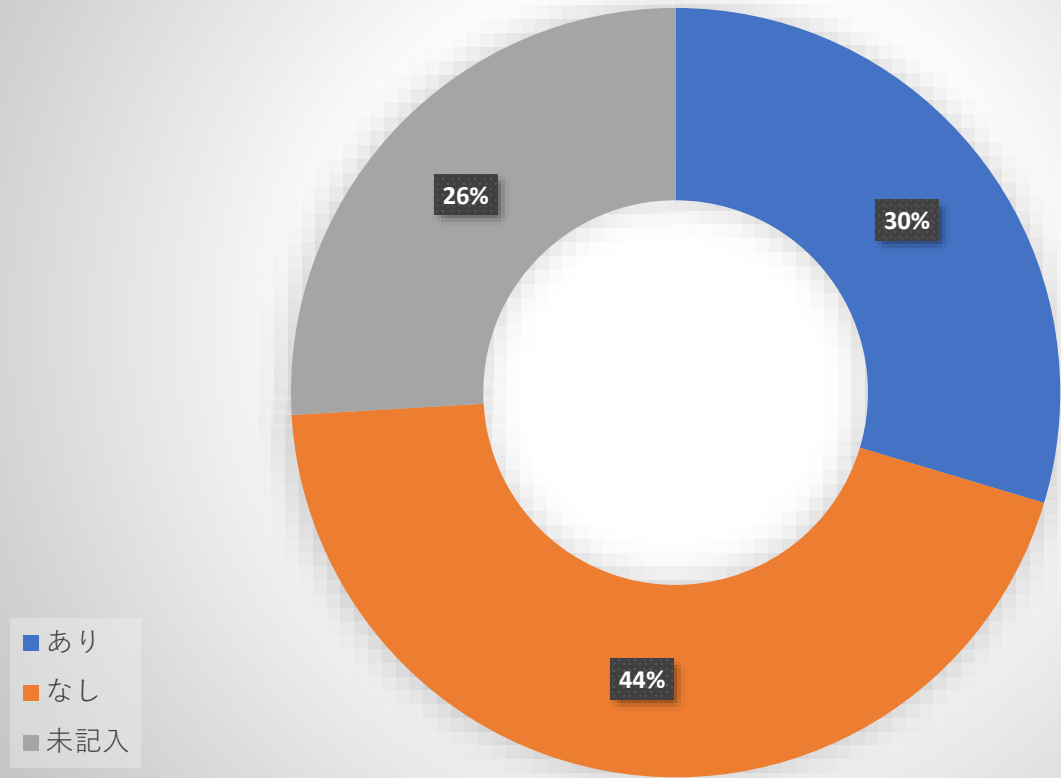
(1) 障害児通所支援



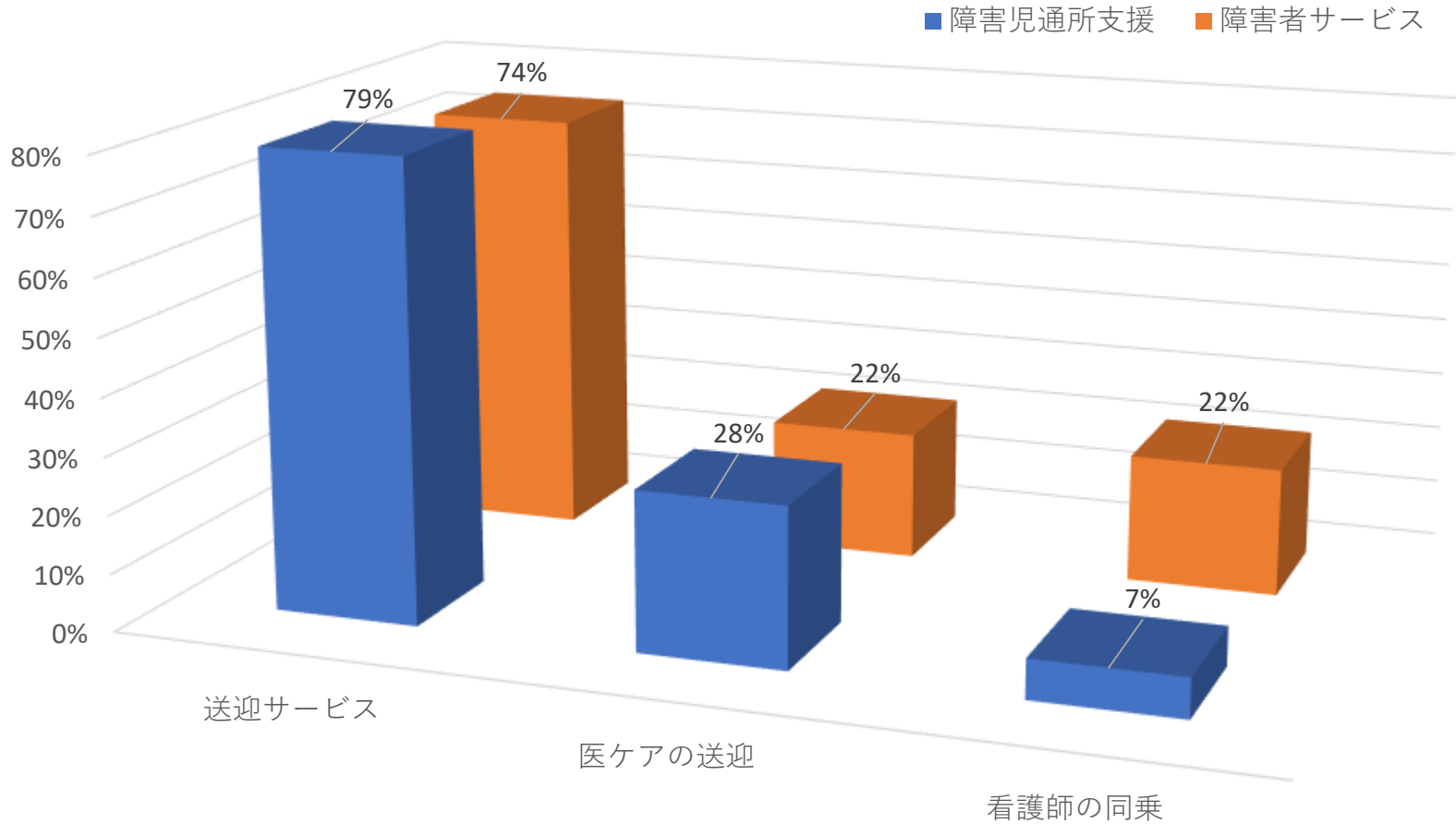
6. 加算算定の状況

(2) 障害者サービス

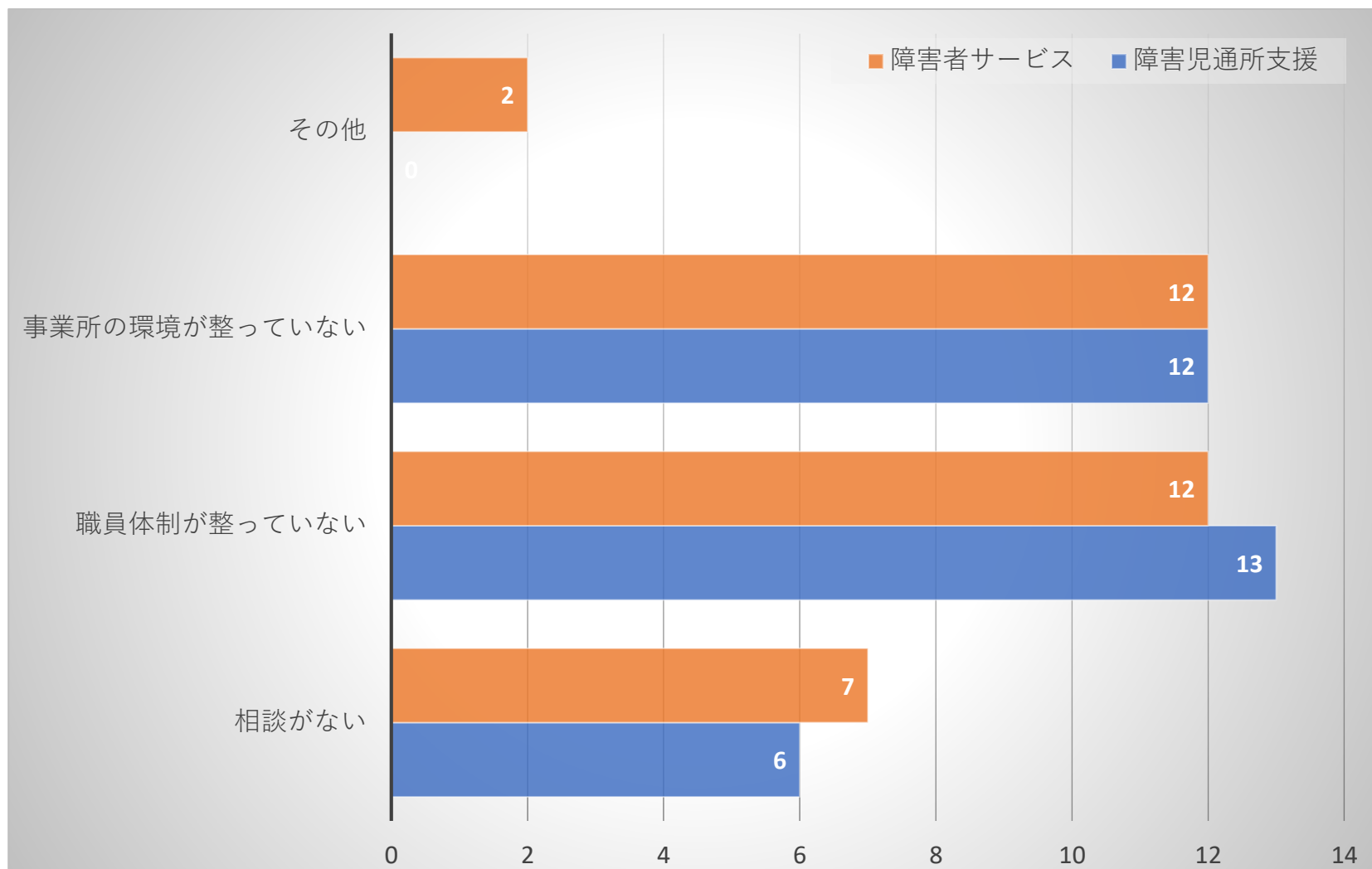
看護師配置加算算定状況 (n=27)



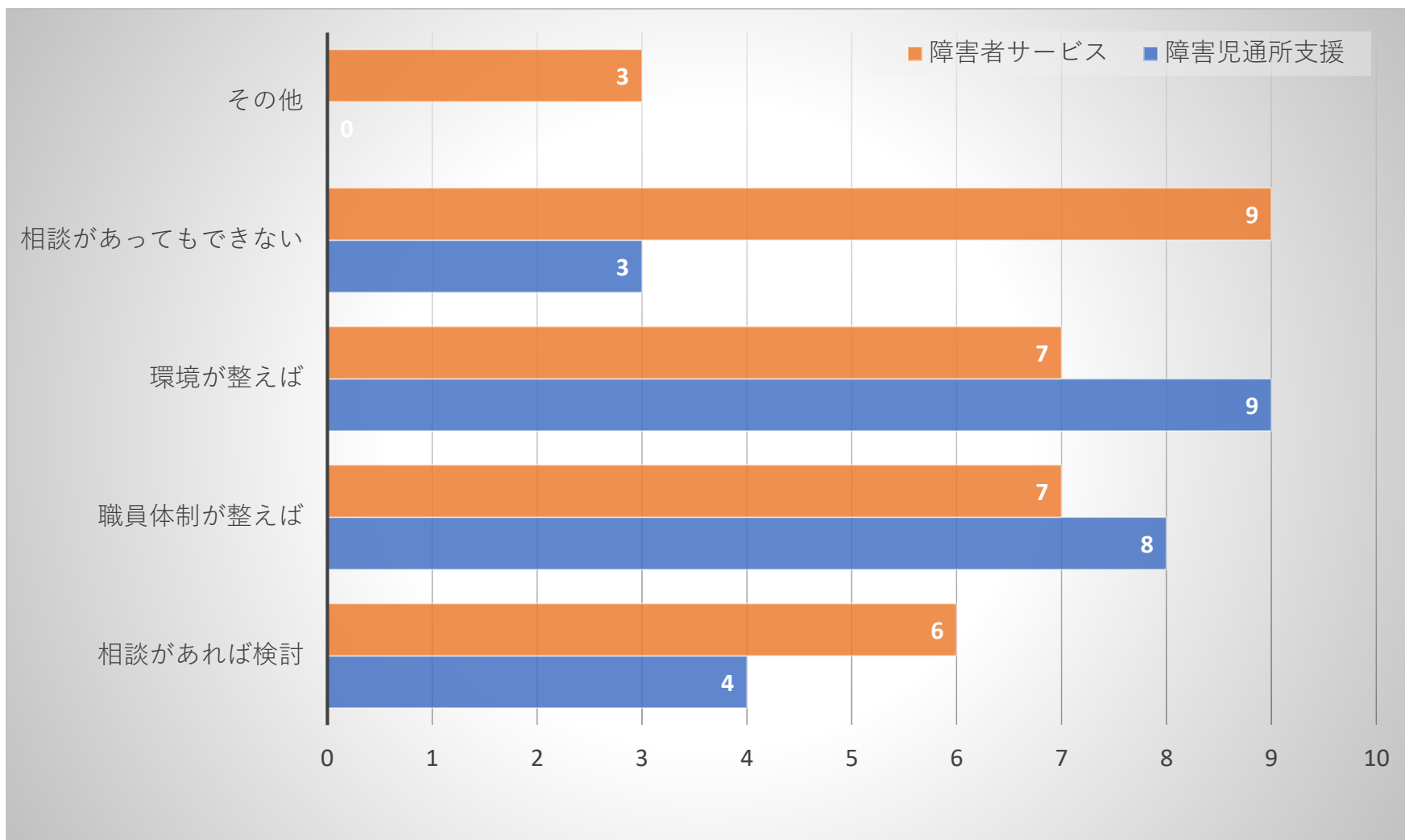
5. 送迎サービスについて



7. 医ケア児（者）を受け入れていない理由



8. 今後の受入について



8. 今後の受入について

<自由記載>

- 法人内で医ケアの受入する生活介護施設を決めているため、法人通所施設間での利用調整をはかり、極力受入ができるようすすめている
- 今後の施設の在り方検討でどのような環境や体制が整えば受入可能か検討する予定

9. 地域課題について

- 医療的ケア児（者）に対し多職種がかかわっているが、個々のかわりになっている/連携できていない
 - ➔多職種をコーディネートする役割の人が必須
 - = 医療的ケアコーディネーター?! コアチーム?!
- 事業所（物・人・事）として医療的ケアの人の支援ができない
 - ➔看護師などの雇用、施設整備（送迎車含む）、活動内容など
- 事業所職員向けの研修会が少ない
 - ➔看護師、施設職員など対象者を絞った研修会（意見交換会）の企画・運営する
- 事業所の収入が安定しない
 - ➔ビジネスモデルとしての成功例が少ないため、事業所連絡会などの意見交換をとおして良事例の運営方法を広める